指針第２号様式

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	株式会社　松岡旅館
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	名古屋市中村区名駅二丁目４５番７号
工場等の名称	松岡ビルディング
工場等の所在地	名古屋市中村区名駅二丁目４５番７号
業種	サービス業（他に分類されないもの）
業務部門における建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	賃貸しビル等（賃貸ししている建築物）
事業の概要	テナントビル
計画期間	令和4年4月1日　～　令和7年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年5月18日　～　令和5年8月16日		
公表方法	○	掲示閲覧	（場所）　松岡ビルディング　１階窓口
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	０５２－５４１－２３８１		

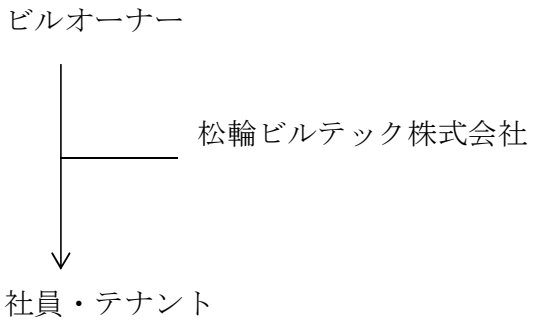
指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。
１　継続的な環境改善
　ＰＤＣＡサイクルに基づく環境施策の継続的な改善をはかります。
２　省資源・省エネルギー活動の推進
　電気、ガス等のエネルギー使用量を令和６1.5年度までに令和３年度比１．５％削減を目指します。
３　廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進
　廃棄物の発生量を抑制するよう努力します。
４　従業員への環境教育と社外への環境コミュニケーションの推進
　従業員に対して環境教育を行い、社外に対しては環境情報の公開をすすめます。

（２）地球温暖化対策の推進体制



指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　1　年度目（令和　4　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,449	t-CO_2
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,449	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
温室効果ガス総排出量	1,578	t-CO_2	1,555	t-CO_2	1,449	t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）			1.5	%	8.2	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

入居率の改善の影響、新型コロナウイルス蔓延による影響があると思われる。
空冷ヒートポンプチラーを高効率な機器に更新した。（2014）
給湯室の照明をLED化・照明器具及び換気扇を人感センサーによる自動化した。（2015）
各階の照明器具をLED化進めている（2023現在）

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	・熱中症に配慮しながら身体に無理のない範囲で冷房温度２８℃、暖房温度２０℃を心がける。		熱中症に配慮しながら目的温度となるように努力している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	・使用していない部屋、昼休み等には不必要な照明の消灯を心がける。		使用していない部屋での消灯を行っている。
省エネルギー・省資源の行動の実践ＯＡ機器	・パソコン購入時は省電力のものを可能であれば選ぶようにする。 ・コピー機、パソコンの退社時のスイッチオフを心がける。 ・エスカレーターの運行時間を決め、利用者が少ない時間は止める。		購入の際、検討している。スイッチのオンオフを徹底している。 エスカレーターを止める等している。
廃棄物の排出抑制	・裏紙利用を心がける。 ・分別回収をより実践しリサイクルを心がける。		分別回収を徹底している。

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　１　　年度目（ 令和　４　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　１　年度目（ 令和　４　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

従業員への環境教育をすすめる。 文具等は可能であればグリーン購入法対象商品にする。

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

エネルギー・省資源行動の実践。 近くの階への移動については階段を利用するよう心がける。